

新たな学校づくりを踏まえた これからの学校を考える授業の実施について

第1期の5地区（本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南第一小学校地区）において、小学3年生を対象に、「町田市が新たな学校づくりを進める背景や目的を知り、これからの学校を考える授業」を実施しています。

南第一小学校では、2024年11月13日（水）1～4時間目に、各クラスで授業を実施しました。

1 授業内容、児童の感想

町田市の人口や子ども数の推移、昔と今の学校生活の違いや、学校の建物が老朽化してきていることなどについて学びました。

そのうえで、町田市が目指すより良い教育環境に向けて、学校統合や学校の建替えを行っているという話を聞き、これからの町田の学校は「どんな学校になったらいいか」を考えてもらうグループワークを行いました。その後、グループごとの話し合いの結果を発表しました。「食堂が欲しい」や「自転車置き場が欲しい」、「エレベーターがあれば車いすの人やけがをしている人が使える」など、様々な意見が出ました。



授業の様子



グループワークの様子



【授業の感想】

- ・子どもが少なくなってびっくりした
- ・市役所の人のお話で知らないことを知れてよかった
- ・知らないことを教えてもらえた。出た意見は全部すてきな意見だと思いました。
- ・新校舎にするのはさみしいけど、とても勉強になりました。

2 今後の進め方

今年度の様子や児童の感想を踏まえ、次年度以降、社会科の「これからの町田市」を考える授業の中で、「まちだ未来づくりビジョン 2040」と合わせて、「こんな町田になってほしい」に加え、「こんな学校になってほしい」という子どもたちの思いや考えを伝え合う時間を設けていけるように検討しています。

引き続き、児童も含めた幅広い意見を生かして、計画を推進していきます。

コメントの追加 [yk1]: 他地区では今後の授業開催予定も